



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

企業委員会の活動

はじめに

コロイド・界面化学は、化粧品、洗剤、食品、製薬、電池・エレクトロニクスなど様々な分野で、微粒子の分散、物質の界面機能による価値創出に活用され、その現象理解のために、産学で活発に連携し、研究が推進されています。

部会には、企業に所属する委員のみで組織された企業委員会があり、本委員会の2つのユニークな活動を紹介します。

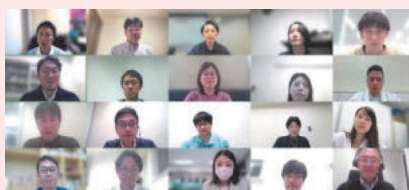
コロイド・界面技術者フォーラム

1つ目の活動は、「コロイド・界面技術者フォーラム」です。本活動の主な狙いは、数多くの課題を抱える企業研究者向けに、アイデアと人脈を得る機会の提供としています。

コロナ従前は7月の江ノ島で1泊2日の「江ノ島フォーラム」として開催してきましたが、2021年以降、オンライン開催を主とするフォーラムに刷新しました。

講師としては、第一線で活躍している企業研究員をお招きし、企業におけるコロイドおよび界面化学の応用研究に関する講演と、その分野に精通したアカデミアの先生をお招きし、基礎研究の講演もしていただいております。講演後、講師1人に対して、参加者5名程度を割り当て、15分程度のグループディスカッションをローテーションで行いました。

従来の参加者はトイレタリー、化粧品分野の方が多かった傾向でしたが、オンライ



前回開催の様子（2024年11月）

ンの手軽さにより、食品、医薬品、工業品、大学、出版社、商社、学生といった幅広い分野・所属の方にご参加いただくことができました。

また、本フォーラムの特徴でもあるグループディスカッションは少人数で行うため、具体的で詳細な質問も多く、大変ご好評をいただきました。

2025年は11月中旬のオンライン開催に向けて鋭意準備中です。オンライン開催ながらも当初の狙いである参加者間の交流が深まるよう今年も検討しています。

新たな社会貢献活動への取り組み

2つ目の活動は、企業委員会の社会貢献活動についてです。

2019年まで、小学生を理科好きにする市民講座「本物の科学教室」をテーマに、例年9月頃に開催される「コロイドおよび界面化学討論会」に合わせて、開催地の小学生を対象に、理科の面白さを伝える実験を行ってきました。コロナ期間中は開催を見送ってきましたが、2024年は宮城県気仙沼市の2校の小学校で開催させていただきました。

授業は「洗剤の秘密を伝授します：汚

れを落とす、泡を立てる」というタイトルで、子供たちにも簡単な実験をしてもらいながら行いました。

授業中、子供たちは熱心にビーカーの中の様子を見つめ、委員に質問を行うなど真剣に取り組み、授業後アンケートでは、「どうやってよごれが落ちているかがよく理解できた」、「日常生活の中に理科っぽいものがあったら調べてみたい」、「理科がますます好きになった」（抜粋）など、理科に対して興味を示してくれました。

2025年は、コロイド討論会中の大学、大学院生とのキャリア相談の支援や2026年の市民講座開催に向けた検討を推進しております。

【担当企業】：味の素株式会社、花王株式会社、株式会社コーセー、株式会社資生堂、日光ケミカルズ株式会社、日本メナード化粧品株式会社、株式会社ファンケル、ポーラ化成工業株式会社、ライオン株式会社

その他の部会の行事

これまで述べた企業委員会の活動はウェブサイトに記載されています。また、その他の部会活動もウェブサイトに掲載されていますので、以下のURLをご参照下さい。

<https://colloid.csj.jp/>

【森垣篤典（ライオン(株)）、
山田隆幸（日本メナード化粧品(株)）】

© 2025 The Chemical Society of Japan